

## 2) 社会福祉科

### 人材の養成及びその他の教育研究上の目的

社会福祉の学科をもつ短期大学は数少なく、北海道においては本学のみである。福祉に対する国民の要求は、個々人において異なるものであり、それに適切に対応していくためには高度の知識・技術が要求される。

社会福祉科では社会福祉学を基盤とした学修を積み重ねていくなかで、社会の変化に対応し得る「子ども福祉」及び「介護福祉」の専門的知識・技術を習得するとともに、短期大学という特性から主に直接処遇職員の養成をめざして、教育研究を行っている。

#### (1) 子ども福祉専攻

##### 人材の養成及びその他の教育研究上の目的

子ども福祉専攻は、建学の精神にうたわれている仏教精神に基づき、一人ひとりの違いを大切に受け止めながら「ともに生きる」ことを保育・教育の場で実践できる保育者（保育士・幼稚園教諭、保育教諭）の養成を目標とする。そのために、通常の保育士・幼稚園教諭の養成課程の科目に加えて専攻独自の科目を設け、幼児教育や子育て支援の活動について地域の実情に即しながら学習し、教育と福祉を包含する総合的な視点を涵養することをめざす。

#### ○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

帯広大谷短期大学は、建学の精神並びに教育理念のもとに策定された学科並びに専攻・課程の学位授与方針に基づき、学則に定める所定の単位を厳格な成績評価のもと修得した学生に対して短期大学士の学位を授与します。

##### 社会福祉科子ども福祉専攻

社会福祉科子ども福祉専攻では、以下に示す能力を身につけ、かつ本専攻が定める卒業要件を満たすことにより、短期大学士（社会福祉学）の学位を授与します。さらに、本専攻が定める要件を満たすことにより、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、社会福祉主事任用資格を取得することができます。

- (1) 子ども家庭福祉・保育・幼児教育に関する基本的な理論や知識を身につけている。
- (2) 子どもの心身の健康な発達に関する理論や知識をもとに、子どもの発達に合わせた適切な接し方や援助方法を選ぶことができる。
- (3) 保育内容とその指導法についての基礎的な知識を習得し、遊びなどの具体的な活動を計画することができる。
- (4) 言葉のつかい方、歌や楽器の活用、造形制作の方法、身体技能などの表現の技術を使って、保育に必要な基礎的な表現の活動ができる。
- (5) 教材を研究し、子どもの姿に合わせて活動を工夫しようとする姿勢を備えている。
- (6) 教養を広げるとともに、他者との協調的な関係を通して目標を同じくする者の共同体に貢献しようとする姿勢を持っている。

#### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

帯広大谷短期大学では、建学の精神並びに教育理念に基づいた人間を育成する教育環境を提供するために、以下のように教育課程を編成しています。

1. 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために「教養科目」を配置します。また、学生が、専門的な知識と技能を体系的に学び、高度で多様な専門性を身につける「専門科目」を配置し、適切に選択・受講ができることを目指します。
2. 学生が幅広い視野に立ち、現代社会を捉え直すことができる知識と理論を提供する「講義科目」、学生が主体的に学ぶ能力を身につけることで学びを深め、それらを総合的に実践する「演習科目」と「実習科目」の3つを効果的に配置し、本学の目指す人間教育を展開します。

##### 社会福祉科子ども福祉専攻

社会福祉科子ども福祉専攻では、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、子どもの福祉と幼児教育に貢献できる社会人としての基礎的な能力を身につけるため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 子ども家庭福祉・保育・幼児教育に関する基本的な理論や知識の習得のために、教育の基礎的理義に関する科目、保育の本質・目的に関する科目を設置する。
- (3) 子どもの心身の健康な発達に関する理論や知識とそれに基づく教育や援助の方法を学ぶために、教育の基礎的理義に関する科目、保育の対象理解に関する科目を設置する。
- (4) 保育内容とその指導法についての知識の習得と活動の計画に関して学ぶために、領域及び保育内容の指導法に関する科目、保育の内容・方法に関する科目を設置する。
- (5) 以上のカリキュラムで培われる知識、技能等の子ども家庭福祉・保育・幼児教育の現場における主体的・実践的な展開の経験と、協調性と共同体への貢献の姿勢の涵養のために、特別演習、教育実習科目、保育実習科目および総合演習の科目を設置する。

A 卒業に必要な単位

教養科目 (共通教養科目及び基礎教養科目)	6 単位以上
専門教育科目	16 単位以上
教養科目または専門教育科目	40 単位以上
合計	62 単位以上

B 資格取得に必要な単位

【保育士資格科目】

教養科目 健康科学・体育実技Ⅰを含め教養科目を8単位以上取得する。

必修科目 表7の必修科目 53単位を全て取得する。

選択必修科目 表7の選択必修科目の中の「保育実習Ⅱ」と「保育実習指導Ⅱ」の組合せか、「保育実習Ⅲ」と「保育実習指導Ⅲ」の組合せのいずれか3単位を取得し、合わせてそれ以外の選択必修科目から6単位以上を取得する。

表7 保育士資格科目

	科目名	単位数	科目名	単位数	
必修科目	保育原理	● 2	保育内容(言葉)	1	
	教育の原理と現代社会	● 2	保育内容(表現Ⅰ)	1	
	子ども家庭福祉	● 2	保育内容(表現Ⅱ)	1	
	社会福祉	2	領域指導法(健康)	1	
	子ども家庭支援論	2	領域指導法(言葉)	1	
	社会的養護Ⅰ	2	領域指導法(表現Ⅰ)	1	
	保育者論(教育に関する経営的事項を含む)	● 2	領域指導法(表現Ⅱ)	1	
	教育と発達の心理学	● 2	乳児保育Ⅰ	2	
	子ども家庭支援の進学	2	乳児保育Ⅱ	1	
	子どもの理解と援助	2	子どもの健康と安全	1	
	子どもの保健	2	特別支援保育Ⅰ	1	
	子どもの食と栄養Ⅰ	1	特別支援保育Ⅱ	1	
	子どもの食と栄養Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	
	教育課程論	2	子育て支援	1	
	保育内容総論	● 1	保育実習Ⅰ(保育所)	2	
	保育内容(健康)	1	保育実習Ⅰ(施設)	2	
	保育内容(人間関係)	1	保育実習指導Ⅰ	2	
	保育内容(環境)	1	幼児教育実践演習(幼稚園)	● 2	
選択必修科目	履修方法 6単位以上取得				
	社会福祉学特別演習Ⅰ	● 1	鍵盤楽器基礎	1	
	社会福祉学特別演習Ⅱ	● 1	子どもと音楽Ⅰ	1	
	社会福祉学特論	1	子どもと音楽Ⅱ	1	
	領域指導法(人間関係)	1	子どもと身体活動	1	
	領域指導法(環境)	1	子どもと造形Ⅰ	1	
	保育の方法と技術	2	子どもと造形Ⅱ	1	
	保育内容特論	1	対人援助とコミュニケーション	1	
履修方法 A・Bいずれかの組み合わせを選択					
A	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	2 1	B	保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ	2 1

●は卒業必修科目

【幼稚園教諭二種免許状】

教育職員免許法施行規則第 66 条の 6(表 8 参照)	8 単位
領域及び保育内容の指導法に関する科目(表 9 参照)	13 単位
教育の基礎的理解に関する科目等(表 10 参照)	20 単位

大学が独自に設定する科目：

「大学が独自に設定する科目」2 単位は、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」及び「教育の基礎的理解に関する科目等」における免許状の取得に必要な最低修得単位数を超えて修得する単位数に含まれる。

表 8 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目区分	開講科目	必修単位数
日本国憲法	憲法	2
体育	健康科学 体育実技 I	1 1
外国語コミュニケーション	英語 I、英語 II、中国語、フランス語、韓国語、ドイツ語のうちから 1 科目以上取得	2
情報機器の操作	情報機器の操作	2

表 9 幼稚園教諭二種免許に関する専門科目(領域及び保育内容の指導法に関する科目)

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	必修単位数	
領域に関する専門的事項	健康	保育内容(健康)	1
	人間関係	保育内容(人間関係)	1
	環境	保育内容(環境)	1
	言葉	保育内容(言葉)	1
	表現	保育内容(表現 I) 保育内容(表現 II)	1 1
	保育内容総論	●	1
保育内容の指導法	領域指導法(健康)	1	
	領域指導法(人間関係)	1	
	領域指導法(環境)	1	
	領域指導法(言葉)	1	
	領域指導法(表現 I)	1	
	領域指導法(表現 II)	1	

●は卒業必修科目

表 10 幼稚園教諭二種免許に関する専門科目(教育の基礎的理解に関する科目等)

免許法施行規則に定める科目区分	授業科目	必修単位数
教育の基礎的理解に関する科目	教育の原理と現代社会	● 2
	保育者論(教育に関する経営的事項を含む)	● 2
	教育と発達の心理学	● 2
	特別支援保育 I	1
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する事項	教育課程論	2
	保育の方法と技術	2
	子どもの理解と援助	2
教育実践に関する科目	教育実習	4
	教育実習指導	1
	教職実践演習	幼児教育実践演習(幼稚園) ● 2

●は卒業必修科目

表● 幼稚園教諭二種免許に関する専門科目(大学が独自に設定する科目)

免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	必修単位数
大学が独自に設定する科目	表 8 および表 9 の科目に含まれる	

【社会福祉主事任用資格】

社会福祉主事の資格に関する科目(保育原理、子ども家庭福祉、社会福祉)3 科目の単位を取得する。  
(子ども福祉専攻卒業必修単位に含まれる)

# 2025年度生 社会福祉科 子ども福祉専攻 カリキュラム

科 目	授業科目	担当者	単位数			2025年度生		備 考	幼免 2種	保育士		
			必	選	計	1年目		備 考				
						前	後					
教養科目	A-001 人間学	桂井	2		2	2				○6		
	A-002 思考と表現	専任	2		2	2						
	A-003 英語Ⅰ	アーロン・島・夏堀・ブライアン	[2]	[2]	[2]			※	△2			
	A-004 英語Ⅱ	アーロン・島・夏堀・ブライアン	[2]	[2]		[2]		※	△2			
	A-005 中国語	申	[2]	[2]		[2]		※	△2			
	A-006 フランス語	高橋(啓)	[2]	[2]	[2]			※	△2			
	A-007 ドイツ語	佐々木(洋)	[2]	[2]		[2]		※	△2			
	A-008 韓国語	曹	[2]	[2]	[2]			※	△2			
	A-009 手話の世界	高野・菊池	[2]	[2]	[2]			※				
	A-010 社会とコミュニケーション	専任	2	2	1	1						
基礎教養科目	A-401 憲法	石王・長谷川(亮)・山口		2	2		2		●	○6		
	A-402 健康科学	佐藤(悦)		1	1			1	●	○		
	A-403 体育実技Ⅰ	川岸		(1)	(1)	(1)			●	○		
	A-404 体育実技Ⅱ	川岸		(1)	(1)		(1)					
	A-405 情報機器の操作	入交		2	2			2	●	○6		
専門教育科目	D-101 保育者論(教育に関する経営的事項を含む)	吉田(耕)	2		2	2			●	○		
	D-102 教育の原理と現代社会	角田	2		2	2			●	○		
	D-103 教育と発達の心理学	滝澤	2		2	2			●	○		
	D-104 子どもの理解と援助	専任	[2]	[2]			[2]	※	●	○		
	D-105 保育の方法と技術	渡邊		2	2			2	●	○6		
	D-106 教育課程論	工藤(ゆ)		2	2			2	●	○		
	D-107 保育内容(健康)	青木	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-108 保育内容(人間関係)	西野	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-109 保育内容(環境)	西野・滝澤	[1]	[1]	[1]				●	○		
	D-110 保育内容(言葉)	角田・滝澤	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-111 保育内容(表現Ⅰ)	高橋(由)	[1]	[1]	[1]				●	○		
	D-112 保育内容(表現Ⅱ)	前田・川村・棚瀬・稻垣	[1]	[1]		[1]			●	○		
	D-113 保育内容総論	工藤(ゆ)	[1]		[1]	[1]			●	○		
	D-114 領域指導法(健康)	青木	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-115 領域指導法(人間関係)	西野	[1]	[1]			[1]		●	○6		
	D-116 領域指導法(環境)	専任	[1]	[1]		[1]			●	○6		
	D-117 領域指導法(言葉)	角田	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-118 領域指導法(表現Ⅰ)	高橋(由)	[1]	[1]		[1]			●	○		
	D-119 領域指導法(表現Ⅱ)	前田	[1]	[1]		[1]			●	○		
	D-120 教育実習指導	専任	[1]	[1]			[1]		●			
	D-121 教育実習	実習委員会		(4)	(4)			(4)	●			
	D-122 幼児教育実践演習(幼稚園)	専任	[2]		[2]			[2]	※	●		
	D-123 特別支援保育Ⅰ	阿部・角田	[1]	[1]			[1]		●	○		
	D-124 特別支援保育Ⅱ	須永	[1]	[1]			[1]			○		
	D-125 保育原理	上村	2		2	2				○		
	D-126 子ども家庭福祉	鈴木(幸)	2		2	2			集中講義	○		

## 2025年度生 社会福祉科 子ども福祉専攻 カリキュラム

専門教育科目	科目	授業科目	担当者	単位数			2025年度生		備考	幼免2種	保育士	
				必	選	計	1年目		2年目			
							前	後	前	後		
専門教育科目	D-127	社会福祉	阿部	2		2	2				○	
	D-128	子ども家庭支援論	須永		2	2			2		○	
	D-129	社会的養護 I	鈴木(幸)		2	2			2	集中講義	○	
	D-130	子ども家庭支援の心理学	高本		2	2		2		集中講義	○	
	D-131	子どもの保健	野崎		2	2	2				○	
	D-132	子どもの食と栄養 I	寺山	[1]	[1]	[1]					○	
	D-133	子どもの食と栄養 II	寺山	[1]	[1]		[1]				○	
	D-134	乳児保育 I	富山		2	2	2				○	
	D-135	乳児保育 II	富山	[1]	[1]		[1]				○	
	D-136	子どもの健康と安全	木幡	[1]	[1]		[1]				○	
	D-137	社会的養護 II	高本	[1]	[1]				[1]	集中講義	○	
	D-138	子育て支援	須永	[1]	[1]				[1]		○	
	D-139	社会福祉学特論	阿部	1	1				1		◎6	
	D-140	保育内容特論	鹿嶋	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-141	鍵盤楽器基礎	前田・川村・棚瀬・稻垣	[1]	[1]	[1]					◎6	
	D-142	子どもと音楽 I	前田	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-143	子どもと音楽 II	前田	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-144	子どもと身体活動	青木	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-145	子どもと造形 I	高橋(由)	[1]	[1]		[1]				◎6	
	D-146	子どもと造形 II	高橋(由)	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-147	対人援助とコミュニケーション	阿部	[1]	[1]				[1]		◎6	
	D-148	保育実習I(保育所)	実習委員会	(2)	(2)			(2)		※2	○	
	D-149	保育実習I(施設)	実習委員会	(2)	(2)			(2)		※2	○	
	D-150	保育実習指導I	専任	[2]	[2]			[2]			○	
	D-151	保育実習 II	実習委員会	(2)	(2)			(2)		※2	◎3	
	D-152	保育実習指導 II	専任	[1]	[1]			[1]			◎3	
	D-153	保育実習 III	実習委員会	(2)	(2)			(2)		※2	◎3	
	D-154	保育実習指導 III	専任	[1]	[1]			[1]				
	D-155	社会福祉学特別演習 I	専任	[1]		[1]		[1]		1年生ゼミ	◎6	
	D-156	社会福祉学特別演習 II	専任	[1]		[1]		[1]		2年生ゼミ	◎6	

※ 30時間の授業をもって2単位とする ※2 80時間の実習をもって2単位とする

幼免2種取得には下記の科目を取得する必要があります

卒業必修科目全て取得 (他の記号と重複している場合があります) ●の科目全て取得 △2の中から2単位以上取得

保育士取得には下記の科目を取得する必要があります

卒業必修科目全て取得 (他の記号と重複している場合があります) ○の科目全て取得 ○6の中から6単位以上取得  
◎6の中から6単位以上取得 ◎3の中からいずれかの組み合わせで3単位以上取得

## (2) 介護福祉専攻

### 人材の養成及びその他の教育研究上の目的

介護福祉専攻では、高齢者及び障がいをもつ方の心身の状況に応じ、エビデンスに基づいた尊厳あるケアを実践できる介護福祉士の養成をめざす。そのなかで建学の精神に基づき人として支え合い生きることについて考え、多様な価値観を受け止められる感性と教養を身につけることを大切にしている。また、身体的ケアにとどまらず精神的ケア（相談支援）も実践できる介護福祉士、さらに住環境や地域連携まで幅広く生活支援を考えられる介護福祉士の養成をめざす。

### ○学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

帯広大谷短期大学は、建学の精神並びに教育理念のもとに策定された学科並びに専攻・課程の学位授与方針に基づき、学則に定める所定の単位を厳格な成績評価のもと修得した学生に対して短期大学士の学位を授与します。

#### 社会福祉科介護福祉専攻

社会福祉科介護福祉専攻では、以下に示す能力を身に付け、かつ本専攻が定める卒業要件を満たすことにより、短期大学士（社会福祉学）の学位を授与します。さらに、本専攻が定める資格要件を満たすことにより、介護福祉士国家資格（受験資格）、社会福祉主事任用資格を取得することができます。

- (1) 人間や社会に関する知識を身につけている。
- (2) 介護福祉に関する知識及び介護技術を身につけている。
- (3) 人間の心身に関する知識を身につけている。
- (4) 医療的ケアの知識と技術を身につけている。
- (5) 幅広く社会福祉に対する理解や見識が持てる。
- (6) 福祉社会の構築に貢献することができる。

### ○教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

帯広大谷短期大学では、建学の精神並びに教育理念に基づいた人間を育成する教育環境を提供するために、以下のように教育課程を編成しています。

1. 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や判断力、表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために「教養科目」を配置します。また、学生が、専門的な知識と技能を体系的に学び、高度で多様な専門性を身につける「専門科目」を配置し、適切に選択・受講ができることを目指します。
2. 学生が幅広い視野に立ち、現代社会を捉え直すことができる知識と理論を提供する「講義科目」と学生が主体的に学ぶ能力を身につけることで学びを深め、それらを総合的に実践する「演習科目」と「実習科目」の3つを効果的に配置し、本学の目指す人間教育を展開します。

#### 社会福祉科介護福祉専攻

社会福祉科介護福祉専攻では、ディプロマ・ポリシーを踏まえ、福祉的支援を必要とする人々や地域への根拠に基づいた支援方法を身に付けるため、以下に示す方針によりカリキュラムを編成しています。

- (1) 学生が、建学の精神を具現化し豊かな人間性を涵養し、総合的な思考力や判断力、表現力を培い、地域社会に貢献する人間となるために共通教養科目（初年次教育、キャリア教育を含む）を設置する。
- (2) 介護実践の基盤となる教養や倫理的態度の涵養のため、専門教育科目に領域「人間と社会」を設置する。
- (3) 福祉の支援の対象者の尊厳の保持や自立支援の考え方を踏まえ生活を支える知識・技術の修得のため、専門教育科目に領域「介護」を設置する。
- (4) 多職種協働や領域「介護」を実践する根拠となる、知識・技術の習得のため、専門教育科目に領域「こころとからだのしくみ」を設置する。
- (5) 医療職との連携のもと、医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術の修得のため、専門科目に領域「医療的ケア」を設置する。
- (6) 幅広く生活支援を理解するため、地域共生・地域連携や社会福祉研究関連の科目群として介護福祉関連科目を設置する。

A 卒業に必要な単位

教養科目	4 単位以上
専門教育科目	50 単位以上
教養科目または専門教育科目	8 単位以上
合計	62 単位以上

B 資格取得に必要な単位

【介護福祉士】

教養科目	4 単位以上
専門教育科目	84 単位以上
合計	88 単位以上

【社会福祉主任用資格】

社会福祉主任の資格に関する科目（社会福祉援助技術、高齢者福祉論、介護福祉ⅠおよびⅡ等）3科目の単位を取得する。（介護福祉士資格必修単位に含まれる）

# 2025年度生 社会福祉科 介護福祉専攻 カリキュラム

教養科目	科目コード	授業科目	担当者	単位数			2025年度生		備考	
							1年目	2年目		
				必	選	計	前	後		
教養科目	共通教養科目	A-002	思考と表現	専任	2	2	2			
		A-003	英語 I	アーロン・島・夏堀・ブライアン	[2]	[2]	[2]			※
		A-004	英語 II	アーロン・島・夏堀・ブライアン	[2]	[2]		[2]		※
		A-005	中国語	申	[2]	[2]		[2]		※
		A-006	フランス語	高橋 (啓)	[2]	[2]	[2]			※
		A-007	ドイツ語	佐々木(洋)	[2]	[2]		[2]		※
		A-008	韓国語	曹	[2]	[2]	[2]			※
		A-009	手話の世界	高野・菊池	[2]	[2]	[2]			※
		A-010	社会とコミュニケーション	専任	2	2	1	1		
		A-501	健康科学	佐藤 (悦)		1	1			1
専門教育科目	基礎教養科目	A-502	体育実技 I	川岸	(1)	(1)	(1)			
		A-503	体育実技 II	川岸	(1)	(1)		(1)		
		A-504	情報機器の操作	入交		2	2			2
		A-001	人間学	桂井	2	2	2			●
	人間関係とコミュニケーション	E-101	福祉心理学	吉村	2	2	2			●
		E-102	人間関係とコミュニケーション	高畠・山本		2	2		2	●
	人間と社会	E-103	社会福祉学	佐藤(英)		2	2	2		●
		E-104	社会保障論	堀田		2	2		2	●
		E-105	生活環境論	菅野(好)	2		2		2	
		E-106	高齢者福祉論	佐藤(英)	2		2	2		●
		E-107	障害者福祉論	阿部		2	2	2		●
		E-108	権利擁護と成年後見制度	佐藤(英)		2	2		2	●
	介護	E-109	介護福祉 I	佐藤千恵・菅野(節)	2		2	2		●
		E-110	介護福祉 II	佐藤千恵・菅野(節)	2		2		2	●
		E-111	介護予防活動	春日	[1]	[1]			[1]	●
		E-112	介護福祉とリスクマネジメント	春日・高畠・林下		2	2			2
		E-113	自立支援と介護 I	長内・高田(康)		2	2		2	●
		E-114	自立支援と介護 II	川道		2	2		2	●
	コミュニケーション技術	E-115	社会福祉援助技術	佐藤 (英)	2		2	2		●
		E-116	コミュニケーション技術演習	佐藤 (英)		[1]	[1]		[1]	●

# 2025年度生 社会福祉科 介護福祉専攻 カリキュラム

専門教育科目	科目コード	授業科目	担当者	単位数			2025年度生		備 考	
							1年目	2年目		
				必	選	計	前	後		
介護	生活支援技術	E-117 介護技術 I	佐藤千恵・小林	[2]		[2]	[2]		●	
		E-118 介護技術 II	佐藤千恵・小林	[2]		[2]		[2]	●	
		E-119 介護技術 III	佐藤千恵・小林		[2]	[2]		[2]	●	
		E-120 家庭生活支援技術 I	佐藤千恵・櫻井・井澤・佐々木(薫)		[1]	[1]	[1]		●	
		E-121 家庭生活支援技術 II	寺山		[1]	[1]		[1]	●	
		E-122 家庭生活支援技術 III	菅野 (節)		[1]	[1]		[1]	●	
		E-123 アクティビティ・ケア	小林・八重柏・高橋(直)・松田・成瀬		[1]	[1]	[1]		●	
	介護過程	E-124 ケアマネジメントと介護過程	委員会		[1]	[1]	[1]		●	
		E-125 介護過程の実践研究 I	委員会		[1]	[1]		[1]	●	
		E-126 介護過程の実践研究 II	委員会		[1]	[1]		[1]	●	
		E-127 介護過程の実践研究 III	委員会		[2]	[2]			[2] ●	
	介護実習総合	E-128 介護実習指導 I	委員会	[2]		[2]	[1]	[1]	●	
		E-129 介護実習指導 II	委員会		[2]	[2]		[1]	[1] ●	
	介護実習	E-130 介護実習 I	委員会	(1)		(1)	(1)		●	
		E-131 介護実習 II	委員会		(2)	(2)		(2)	●	
		E-132 介護実習 III	委員会		(6)	(6)		(5)	(1) ●	
		E-133 介護実習 IV	委員会		(2)	(2)			(2) ●	
こことからだのしくみ	発達と老化の理解	E-134 発達と老化の理解	春日		2	2		2		●
		E-135 発達心理	加賀谷		2	2		2		●
	認知症の理解	E-136 認知症の理解 I	小林		2	2		2		●
		E-137 認知症の理解 II	小林・植松		2	2			2	●
	障害の理解	E-138 障害者的心理	吉村		2	2		2		●
		E-139 障害の理解	高畠・津田・春日		2	2			2	●
	こことからだのしくみ	E-140 こことからだのしくみ I	春日		2	2	2			●
		E-141 こことからだのしくみ II	春日		2	2		2		●
		E-142 こことからだのしくみ III	春日・斎藤		2	2			2	●
		E-143 こことからだのしくみ IV	春日		2	2			2	●
	医療的ケア	E-144 医療的ケア	春日・高田(緑)		(2)	(2)			(2)	●
介護福祉科	社会福祉研究	E-145 介護研究方法	ゼミ	[2]		[2]		[1]	[1]	佐藤千恵、佐藤(英)、小林

※30時間の授業をもって2単位とする ●介護福祉資格必修